

はつらつ宮っこ

今、輝いている市民

誰もが幸せになれるお酒を

宇都宮から世界へ発信

栃木リキュール（二荒町） 原 百合子さん

4月に発表されたイギリスの酒類国際品評会「インターナショナル・スピリッツ・チャレンジ2019」リキュール部門で、100年以上続く老舗ブランドが並ぶ中、出品した4品全てで、銀賞と銅賞を受賞した原さん。なんと、本格的に製造業を始めてわずか5カ月後の出来事でした。

「自信につながりました。何より、契約している農家さんにいい報告ができたのがうれしい」と受賞時を振り返ります。バーテンドーとして働いていた時、カラフルなお酒で悪酔いするお客さんを見て、「純粋に楽しんでもらえるお酒を作りたい」と考え、いろいろな果実酒を作り始めるように。イチゴやナシ、ユズなど、資源の多い栃木県で地産地消に力を



入れる原さんは「距離が近いと農家さんの思いも直接汲み取れて、地元の方にも親近感を持ってもらえる。他県の方にも興味を持ってもらえて、いいことがたくさんある」と話し、構想から製造、ブランドデザイン、販売まで一貫して一人で行っています。



「プロのバーテンドーにも使ってもらえるよう、高品質を目指しています。若い人に職場を提供して、地域に貢献したい」と志す原さんのお店には、海外からもお客さんが足を運びます。宇都宮の小さな街工場から注がれる情熱は、やがて世界へ幸せを運んでいきます。

「自信につながりました。何より、契約している農家さんにいい報告ができたのがうれしい」と受賞時を振り返ります。バーテンドーとして働いていた時、カラフルなお酒で悪酔いするお客さんを見て、「純粋に楽しんでもらえるお酒を作りたい」と考え、いろいろな果実酒を作り始めるように。イチゴやナシ、ユズなど、資源の多い栃木県で地産地消に力を

教えてイトコ

うつつのみや

街を歩いて宇都宮のイトコを再発見します

今回は「田川(宮の橋～大錦橋通り)」周辺

ID 1018965



いつも通っている JR 宇都宮駅前の宮の橋から田川沿いを北へ。流れる水のせせらぎを聞きながら、のんびりと散歩。途中、沿道がたくさんの花で彩られていたのが印象的でした。中川染工場では宇都宮が全国に誇る宮染めを見学。故郷の職人が作る伝統工芸品、やっぱり最高ですね。

リポーター 井上マコ



一つ一つ心をこめて作っています



12 宮染め製品。製造途中の水洗いの際には、今でも田川の水を汲み上げて使用しています。3 川沿いの花を整備する河川愛護会「シルバー大学下町支部田川花愛好会」の皆さん。沿道を歩く人たちからの反響の大きさが励みとのこと。4 5 途中休憩したのは「喫茶紫陽花」。ほっと一息落ち着けるお店です。

中川染工場 代表取締役 中川 友輝さん

「教えてイトコ うつつのみや」は毎月とちぎテレビで放送中（48 ページ参照）。過去の動画は市HP愉快動画館でご覧になれます。

